滿洲の觀光バス案內

昭和十四年一月十六日
旅順要塞司令部許可濟



大連都市交通株式會社
奉天交通株式會社
新京交通株式會社
哈爾濱交通株式會社
共同發行

満洲の旅行

満洲ほど強く旅行者を引付ける土地は無いでせう。それは我日本の進路に對して偉大な解答を與へてゐる土地だからです。豐饒な曠野、安らかな民心、そこに火と燃える五族協和の精神、皆日本人として見なければならない、知らなければならない事柄ばかりです。

「先づ満洲を知れ。」

日露戰役の跡生々しい旅順戰跡、大陸の大玄關大連市、満洲の心臓奉天、炭都撫順、國都新京、北満のモスコー哈爾濱、これ等の都市には観光バスが運行されて居ります。

満洲の概念

面積　百三十萬平方粁
人口　三千五百萬人

耕地	可耕地　三千二百萬陌 既耕地　一千四百萬陌
製鹽	十三億斤
鐵鑛	十八億瓲（推定）
石炭	八十億乃至百億瓲（推定）
金鑛	六十億圓
林産	立木　百三十三億石 年産額　六百萬石
家畜	一千萬頭
農産	一千六百萬瓲
貿易	輸出　五億三千萬圓 輸入　七億圓
鐵道	一萬粁 自動車營業線一千三百粁
投資	日本　二十億七千萬圓 列國　一億五千萬圓

聖地を廻る旅順戰跡バス

年中無休

難攻不落と謂はれた旅順要塞。我二十八珊榴彈砲の雨と忠勇なる将兵の血を浴びた旅順要塞。それが今尚當時のまゝ殘されてゐるのです。

それに又旅順は若し自由に開放したら遼東半島のモナコになるだらうと謂はれる程風光明媚の地であります。

× ×

【旅順戰跡バスの案内】

一、案　内人——大連都市交通會社專屬男子案内人
一、運　賃
　大人——一圓五十錢
　小人——七十五錢
　軍人——一圓二十錢
一、走行粁——三十八・八粁（約九里半）
一、所要時間——四時間
一、發車時刻——午前九時三十分　正午　午後二時三十分
一、發車場——旅順市乃木町營業所
一、巡拜箇所——白玉山→戰利品陳列館→東鷄冠山北堡壘→水師營會見所→爾靈山→博物館
一、使用車輌——二十五人乘又は三十人乘觀光車
一、應需車輌數——二十五輌

× ×

【大連、旅順連絡バス】

一、案　内人——女子案内人附
一、運　賃
　大人——片道　一圓
　小人——同　五十錢
　軍人——同　八十錢
一、走行粁——四十八・八粁（約十二里）
一、所要時間——一時間
一、發車時刻——三十分又は一時間毎發車
一、發車場——大連市常盤橋バス待合所
一、使用車輌——二十五人乘又は三十人乘郊外車

◆尚大連で旅順戰跡バスの乘車券を購入出來ます。

【貸切運賃】

一、一日貸切（十時間以内）——二十五人乘——七十圓
一、大連旅順間——二十五人乘
　片道　二十五圓
　往復　四十圓
一、旅順戰跡一周——二十五人乘——三十七圓五十錢
　軍人、學生——二割引



白玉山表忠塔

一、申込所 （大連都市交通株式會社 自動車係（電 二一二〇九〇）
同 旅順乃木町營業所（電 六 七 八）
ジヤパン・ツーリストビユーロー（電 二一三〇八五 二一五五五四 二一四七一三））
其他大連著名ホテル及旅館に於ても取扱ひます。

【巡拜箇所概況】

白玉山 下車説明

旅順市の中央に聳え、新市街と舊市街の中間にあたつてゐます。自動車で登れば次第に眼界が展け一眸千里の言葉の如く各砲壘及黄海の波濤を眺望し得られます。山頂には表忠塔が聳え、後方には納骨祠があり、旅順攻圍戰に護國の神と化した陸海勇士二萬三千餘名の遺骨を祀つてあります。

東鷄冠山北堡壘 下車説明

旅順本防禦陣地中の模範築城であります。我が第十一師團の諸隊は明治三十七年八月十九日より第一回總攻撃を開始し敵兵の機關銃と砲火に惱まされ突撃隊は全滅しました。そこで地下坑道を掘り敵の陣地を爆破する計畫を樹て十二月十八日午後二時十五分大爆破を決行し、猛烈な突撃を敢行して其夜遂に占領したのでありました。

望臺

東鷄冠山北堡壘を後にして戰跡道路に出れば背後に二門の大砲が見えます。それが望臺で旅順背面の最高峰です。

松樹山堡壘

山頂に近い道路を曲折して行けば右方に見えるのは永久堡壘でこの攻撃は東鷄冠山北堡壘の例にならつて三條の坑道を穿つて大爆破をし十二月三十一日に占領した堡壘です。有名な白襷隊の突入したのは左側に見える松樹山補備砲台であります。

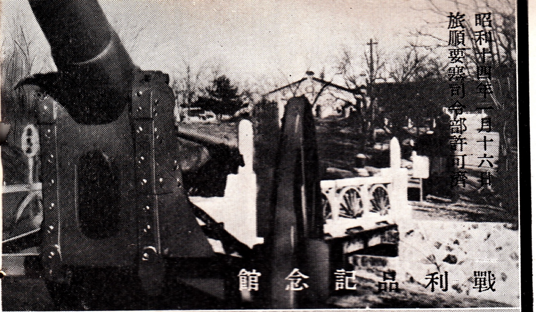
水師營會見所 下車説明

爾靈山が我軍の手中に落ち東北の諸壘が又敵の手中を離れた時つまり三十八年一月一日午後四時頃我第一線に露軍の軍使が參りました。翌一月二日開城規約が結ばれ、五日に記念すべき乃木、ステツセル兩將軍の會見が此の農家に於て行はれたのであります。

庭に一本棗の木と歌はれた棗の木は今も尙ほ繁つてゐます

爾靈山 下車説明

爾靈山は旅順攻圍戰中最大の犧牲を拂つた地であります。第一師團が三十七年九月十九日の第二回總攻撃の日より連續四晝夜の强襲の後、十一月二十七日新鋭の第七師團を以つて漸く占領したのであります。我軍の戰死者二千二百十名、旅順攻圍戰の戰死者の約十分の一にあたつてゐます。


戰利品記念館
昭和十四年一月十六日 旅順要塞司令部許可濟


東鷄冠山北堡壘
昭和十四年一月十六日 旅順要塞司令部許可濟


水師營會見所
昭和十四年一月十六日 旅順要塞司令部許可濟



二〇三高地
昭和十四年一月十六日 旅順要塞司令部許可濟

大連觀光バス

（十二月ヨリ二月末日迄運轉休止）

港大連は大滿洲國の表玄關であり僅三十年の歴史しか持たない未完成國際都市です。街には獨特な雰圍氣が流れ、內地風ともヨーロッパ風ともつかない人懷つこさに充されております。それに對し滿支人の生活は瀑布の落差のやうな激しいコントラストを見せてゐるのです。（日本人々口十六萬、滿支及諸外國人々口三十四萬五千、計五十萬五千）

【大連觀光バスの案內】

一、案　　內　人──女子案內人

一、運　　　賃──一圓八十錢（小人九十錢）

◆貸　　　切──一輛　三十圓（案內人附）

◆團　　　體──十人以上を團體取扱とし

一人　一圓六十錢（小人八十錢）

◆時間貸切──（案內人なし）

車種＼時間	一時間	二時間	三時間	四時間	五時間	六時間	七時間	八時間	九時間	十時間
二人乘	六・〇〇	一一・四〇	一六・二〇	二〇・四〇	二四・〇〇	二七・〇〇	二九・四〇	三一・二〇	三二・四〇	三三・〇〇
二五人乘	七・〇〇	一三・三〇	一八・九〇	二三・八〇	二八・〇〇	三一・五〇	三四・三〇	三六・四〇	三七・八〇	三八・五〇

午後十時より午前六時迄の間に發車する貸切は普通料金の二割增

待時間及目的地途上に於ける待時間は一時間每に五圓を申受けます但廿分間を經過したる時は一時間と見做します

一、走　行　粁──三十九粁（約十里）

一、所　要　時　間──六時間

一、發　車　時　刻──午前九時半

一、發　　車　　場──大連市常盤橋バス待合所

一、觀　光　箇　所──山の茶屋──忠霊塔──大連神社──大廣場──滿洲資源館──大連驛──大佛──星ケ浦遊園──露天市場──油房──碧山莊──埠頭

一、使　用　車　輛──二十五人乘觀光車

一、應　需　車　輛　數──（案內人附──十輛
案內人無し──二十五輛）

一、申　　込　　所──
大連都市交通株式會社
自動車係（電　二一二〇九〇）
ジャパン・ツーリスト・ビューロー（電　二一三〇八五　二一五五五四　二一四七一三）

其他大連著名ホテル・旅館でも取扱ます。

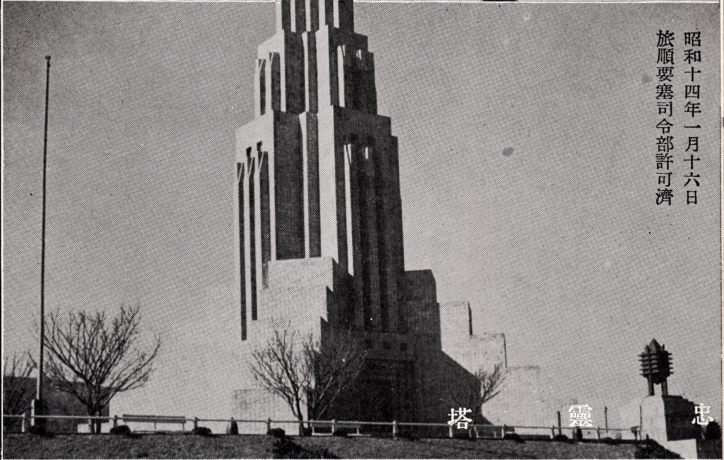


昭和十四年一月十六日
旅順要塞司令部許可濟

大連市常盤橋附近



大連神社



忠靈塔



大連埠頭

【觀光個所概說】

山の茶屋 下車説明
全市を眺望する事が出來ます。

忠靈塔 下車説明
日露戰役で蓋平以南の地に戰死された勇士の遺骨を御祀りしてあります。

大廣場 下車説明
政治經濟の中心であり廣場を圍んで大連市役所、ヤマトホテル、英國領事館、大連警察署、朝鮮銀行、遞信局、横濱正金銀行、中國銀行、東洋拓殖會社等のビルデングが堂々と立並び、少し離れて赤旗飜るソビエト・ロシア領事館、星條旗はためく米國領事館があります。

滿洲資源館 下車説明
滿洲資源のアウトラインを握む爲是非訪れなければなりません。滿鐵の經營です。

大佛
日露戰役に護國の神となられた人々の遺骨が滿洲の山野に殘されてゐたのを拾ひ蒐め粉末としコンクリートを混入して大佛を造つたものであります。勿論露國軍人の遺骨も混入してゐるでせう。

星ケ浦遊園 下車説明
春は櫻、夏は海水浴場で眺望絶佳、滿洲のオアシスと呼ばれてゐます。

露天市場 下車説明
滿洲人の生活を知る爲に最も便利な地域で日滿人の生活差から生じた奇現象です。尙滿人にとつては又とない民衆的娯樂地となつてゐます。

油房 下車説明
滿洲特産の大豆から豆油を採る工場です。

碧山莊 下車説明
苦力の宿舍で、見事な勞働統制を行つてゐます。滿鐵の傍系會社です。

埠頭 下車説明
滿鐵經營の港灣で機械化せずに苦力を多數使用してゐる點に特色があります。

奉天觀光バス

奉天は遠く渤海の時代より元、明を經て、清朝數百年榮華の夢を結び興亡うたゝ幾千年、その一草一木、大廈高樓の一片の甍にも悉く幾世霜の歴史を祕めて風光明媚、戰史蹟名勝に或ひは豐かな傳說に惠まれてゐることは全滿に誇るところで、想起せば日露の役に於ける兩軍の雌雄を決した屍山血河の巷と共に、近くは滿洲事變に、新興滿洲國の搖籃發祥の地として、永遠に記念さるべき地であります。

☆**全コース**

運行期間　自三月一日　至十一月末日
發着時間　午前十時奉天驛前發　午後四時同歸着
所要時間　六時間
走行粁程　五〇粁
料　　金　大人貳圓五拾錢　小人壹圓五拾錢
コ ー ス　奉天驛前―忠靈塔―國立博物館―北陵―柳條湖―北大營―天齊廟―鐵西―南部住宅街―奉天驛

☆**短コース**

運行期間　自三月一日　至十一月末日
發着時間　●午前九時奉天驛前發―午後〇時三十分同歸着



奉天北陵

●午後一時奉天驛前發――午後四時三十分同歸着
（一日二回發）

所要時間　三時間三十分
走行粁程　三〇粁
料　　金　大人壹圓五拾錢　小人九拾錢
コ ー ス　奉天驛前――忠靈塔――北陵――柳條湖――北大營――城内――同善堂――奉天神社――奉天驛

いづれも明朗ガイド・ガール案内説明付

團體貸切料金

一、市内時間貸切料金表

車種＼時間	一時間	二時間	三時間	四時間	五時間	六時間	七時間	八時間	九時間	十時間
小型	六・〇〇	一一・五〇	一六・五〇	二〇・五〇	二四・〇〇	二七・〇〇	二九・五〇	三一・五〇	三二・五五	三三・〇〇
大型	七・〇〇	一三・五〇	一九・〇〇	二四・〇〇	二八・〇〇	三一・五〇	三四・五〇	三六・五〇	三八・〇〇	三九・〇〇

二、市外時間貸切運賃

小　型　一日間（十時間以内）　三三圓
大　型　一日間（十時間以内）　三九圓

時間貸切運賃ハ十時間ヲ以テ限度トス
乘車お申込は左記へ

奉天驛前

樓内に收められてゐます。

同善堂

光緒七年當時天然痘が流行を極めた際、後に日清戰役の猛將、左寶貴氏が私財を投じて天然痘豫防、育兒保護、貧民救濟のため、開設したのに始まり、特筆すべきは、救生門（捨兒を受取る窓）濟良所（逃避し來れる娼婦を收容する所）等で、世界各國にも類なきものと謂はれてゐます。

北陵

今を去る三百餘年前の崇德八年に築造を完成して、清朝第二代太宗皇帝の靈柩を、葬つたもので外苑周圍二里には老松鬱蒼とし中央朱壁瓦の碑閣に至る磚道の兩側には獅子、走獸、麒麟、馬、駱駝、象等の石獣竝び、傳説祕めらる、聖德神巧碑、石門、石階、壁門に刻まれた鮮かな彩彫の一つ一つにも當時の盛期が偲ばれます。

北大營

我軍僅かに五百の寡兵で、敵精鋭一萬餘を算する北大營にせまり敵機關銃の猛射をものともせず突擊を敢行、彈丸盡きて銃劍の白兵戰に次ぐる肉彈戰の苦闘の結果、遂に午前五時



北塔

一、市內時間貸切料金表

車種＼時間	一時間	二時間	三時間	四時間	五時間	六時間	七時間	八時間	九時間	十時間
小型	六・〇〇	一一・五〇	一六・五〇	二〇・五〇	二四・〇〇	二七・〇〇	二九・五〇	三一・五〇	三二・五五	三三・〇〇
大型	七・〇〇	一三・五〇	一九・〇〇	二四・〇〇	二八・〇〇	三一・五〇	三四・五〇	三六・五〇	三八・〇〇	三九・〇〇

二、市外時間貸切運賃

小型　一日間（十時間以內）　三三圓

大型　一日間（十時間以內）　三九圓

時間貸切運賃ハ十時間ヲ以テ限度トス

乘車お申込は左記へ

奉天驛前

奉天交通株式會社千代田通營業所

電話　三－六六一一番

　　　三－三五八三番

ジヤパン・ツーリストビユーロー

電話　三－二八六三番

　　　三－三九一四番

他、奉天著名ホテル、旅館にても取扱ひます。

國立博物館

熱河の阿片王とまで謳はれた舊東北軍閥の驍將、湯玉麟が巨萬の私財を投じて建築、完成直前に、彼の滿洲事變の突發となり湯は逃亡し未完成の儘放置されて居たが、滿洲國政府の提唱により康德二年五月、國立博物館として更生したもので、その陳列品は遼、宋、金時代の名書畫や陶磁器、墓誌、哀册文、契丹文字等の珍寶三千五百餘點が壯麗な白堊の三層


北大營

北陵

今を去る三百餘年前の崇德八年に築造を完成して、清朝第二代太宗皇帝の靈柩を、葬つたもので外苑周圍二里には老松鬱蒼とし中央朱壁瓦の碑閣に至る磚道の兩側には獅子、走獸、麒麟、馬、駱駝、象等の石獸竝び、傳說秘めらる、聖德神巧碑、石門、石階、壁門に刻まれた鮮かな彩彫の一つ一つにも當時の盛期が偲ばれます。

北大營

我軍僅かに五百の寡兵で、敵精鋭一萬餘を算する北大營にせまり敵機關銃の猛射をものともせず突擊を敢行、彈丸盡きて銃劍の白兵戰に次ぐる肉彈戰の苦闘の結果、遂に午前五時二十分完全に日章旗を飜すことが出來た滿洲事變最初の激戰地であります。

柳條湖

昭和六年九月十八日午後十時三十分、張學良麾下の王以哲軍は南滿鐵道奉天、文官屯間北大營附近の柳條湖に於て線路を爆破し、對日宣戰の擧に出ました。滿洲事變發祥の地として永久に記念さるべき地點であります。

天齊廟

約三百年前の建築になり孔子の敎義の勸善懲惡因果應報を形體化して、樣々な人形に型作られたもので、日本に於ける地獄極樂と似たものである。每年舊曆三月二十八日の本祭は老若男女が終日詣でて開張を致します。


奉天城門

世界に誇る炭都
撫順觀光バス

運行期間　自三月一日　至十一月末日
發着時間　●午前十一時發　午後一時歸着
●午後一時三十分發　午後三時三十分歸着
（一日二回發）
所要時間　二時間
走行粁程　二七粁
料　金　大人壹圓貳拾錢　小人七拾錢
コース　撫順驛―炭鑛事務所―大山坑―古城子露天掘―撫順神社―殉職碑―撫順驛

撫順炭鑛は滿鐵の經營で、埋藏量十億瓲世界無比の露天堀、年出炭量七百八十萬瓲、又、油母頁岩乾溜により生ずる重油年産六萬八千瓲（增產設備建設中）尙附屬事業として發電所、モンガス工場タール蒸溜工場、ピッチ、コークス工場石炭乾溜工場、硫酸工場、酸・水素工場等の諸工業を經營する外目下、石炭液化工場の建設が行はれており、全市は宛然工業王國の樣な觀を呈してゐます。



露天堀

新京觀光バス

國都新京の御觀光は是非定評ある觀光バスで!!

●コースは全市樞要の箇所を網羅し
●車は東洋一の高級觀光車で
●説明は親切で明朗な婦人案内員です。



新京市街

座席數が定つて居りますからなるべく御早く御申込を願ひます。電報、電話にての御豫約も御受け致します。

御問合は

新京交通會社（電話二・五六八一番）

又は新京觀光協會（電話三・四九四一番）

觀光コース——新京驛——[新京神社]——[忠靈塔]——[寬城子戰蹟]——日本橋通——舊國務院——[宮廷府]——[淸眞寺]——大同廣場——協和會館——[南嶺戰蹟]——建國廟——安民廣場——國務院——南新京——興安大路——大同大街——寶山——新京驛

［　］印は下車御案内箇所

總行程　四十四粁

所要時間　三時間

料金　大人壹圓五拾錢　小人半額

出發時間 ●午前九時
（一日一回發）●午後一時三十分

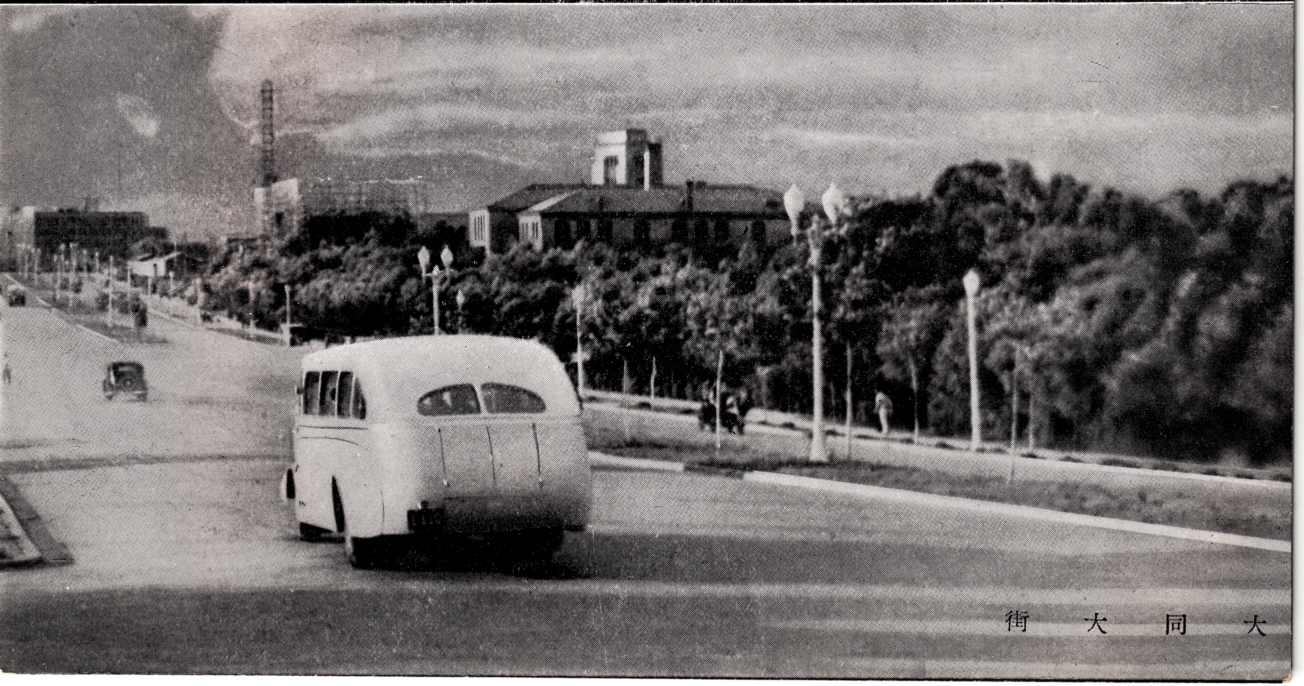
出發箇所　新京驛前

御申込所　新京觀光協會驛前案内所
（電話三—四九四一番）

× ×

國都新京

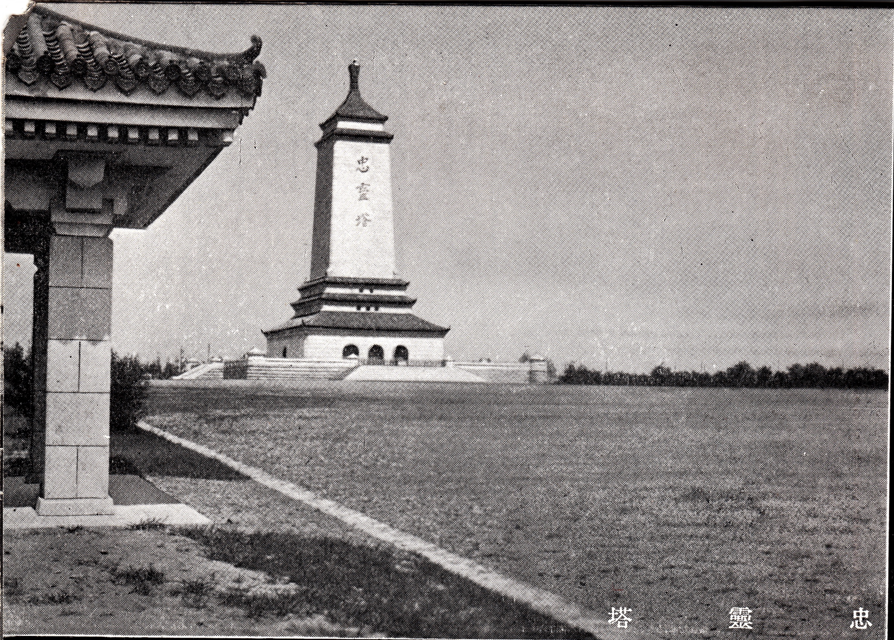
碧空を截つて櫛比する高樓の偉觀、アスファルト、タールマカダムに鋪裝されて縱横に展開する街衢の豪壯を見る時、誰が果して之が茫洋たる内蒙の一旗地「長春」だつたのだと考へることが出來ませうか。新興國都と奠められて曠野の一角に呱々の聲を擧げた「新京」は恰かも決河奔流の勢を以て其の建設に驀進し、康德四年九月早くも第一期五ケ年計畫を完成したのです。而かも止まるところを知らぬ其の發展は、人口二百萬の都市を目標とし劃期的大建設に向つて一刻の弛みもなく躍進に躍進を續けてゐます。日に新しく日に進む國都新京の颯爽たる姿こそは、大滿洲帝國建設の核心的表象であり、人類



大同大街

創造史に驚異的頁を加へるものと謂ふ可きです。巨大なる高層建築物、坦々たる三線式道路、完備せる交通機關凡ゆる近代的都市施設をもつ新京は、一方又、古都長春の名殘を幾多止めてゐます。近代と古代、新しきものと古きものとの美を渾然調和の裡に包含してゐるのが五族協和の國都に適はしい魅力でありませう。

●團体貸切觀光バスの御申込に應じます。



忠靈塔



ハルピン観光バス

○野ツ原たゝいてロシア人さんは
ハルピンこゝだと家建てた

野口雨情

○ハルピンは帝政の世の夢のごと
白き花のみ咲く五月かな

與謝野晶子

АВТОБУС ДЛЯ ЭКСКУРСАНТОВ ХАРБИНА



ロシヤ墓地

『東洋のパリー』『東洋のモスコウ』として特種な異國情緒を持つ國際都市大ハルピンも幾多の變遷を經て今は昔の語り草となりました。が併し、末だ至るところに「ロシア人の町」の樣姿が見られます。

特に壯麗なるロシア寺院の大伽藍！

黄昏に昔ながらの鐘の音は一しほに旅愁をそゝられます。

噂の「裸踊り」と「キャバレー」歡樂境ハルピン！ たゞそれ丈けがハルピンの全貌ではないのです。

滿洲のハルピン　北滿のハルピン　そこに特異性の魅力があります。

「觀光箇所概說」

中央寺院（サボール）

ハルピンに於ける最も古い寺院で丸太をもつて組合はされた建築樣式が華やかな帝政ロシアの夢を包んだかのよう……

忠靈塔（下車說明）

日露大戰シベリア出兵、滿洲事變等に於て君國のため曠野の華と散つた英靈を合祀せるもの、高さ六十七米全滿最大の忠靈塔であります。

志士之碑（下車說明）

日露戰爭當時横川沖以下六烈士が護國の神と化しその英靈を合祀せるは餘りに有名で、ハルピン驛頭に不慮の最後を遂げられた伊藤公と共にハルピンの有する尊き光彩であります

孔子廟（下車說明）

ロシア寺院と對照しその壯麗華美の點では滿洲寺院中屈指のものと云はれております。

ロシア人墓地（下車說明）

墓地と云ふよりも寧ろ春夏の候には散策によく異國味豐かな明るい感じのする墓地です。



（松花江）スンガー風景



キタイスカヤ街



ハルピン全景

松花江（スンガリー）（下車說明）

江の幅員一千米それに架かる大鐵橋長さ九百五十米此鐵橋に依つて滿洲里、シベリヤを經て歐洲に連絡する………と云ふことに意義があります。

ハルピン觀光バス御案內

一、案內人　女子案內人

一、乘車料金　大人　一圓五十錢
軍人
學生　一圓
小人　七十五錢

一、走行粁　三十八粁

一、所要時間　三時間半

一、發車時刻　午前九時

一、發車場　ハルピン驛前

一、觀光箇所　中央寺院――忠靈塔
橫川沖、志士之碑――孔子廟――ロシア人墓地――松花江

一、申込所　哈爾賓驛案內所　電話　二三四四番
ジャパンツーリストビューロー　電話　四五一三番　四七八八番
交通會社自動課營業係　電話　六六九〇番　六六九一番

一、運轉期間　五月一日ヨリ　十月末日マデ

一、貸切　一時間七圓　三十分ヲ增ス每ニ三圓

發行所　大連市西通り百拾九番地　大連都市交通株式會社
發行人　大連市聖德街一丁目一七〇番地　山口伊與三郎


志士ノ碑